

屋久島農業普及だより

[編集発行]

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

写真でつづる 普及活動 この1年

農業普及係では、平成30年度は7つの課題を設定し、関係機関・団体と連携を図りながら、活動を行ってきました。今回はその一部を写真で紹介します。

屋久島農業を担う人材の育成・確保

屋久島農業を担う経営体を育成するため、認定農業者の経営改善支援や新規就農者、青年・女性農業者を支援しています。



新規就農者励ましの会(9月)



新規就農基礎研修会(9月)



青年農業士講座制研修(9月)



青年農業者会議(9月)



認定農業者島外研修(11月)



経営改善に向けた検討会(随時)



家族経営協定調印(7月)



食の文化祭(9月)



若手女性農業者巡回(7月)

カイガラムシ類の発生に注意しましょう！

1 カイガラムシ類の生態と防除

島内各集落で、ヤノネカイガラムシやイセリアカイガラムシ等の発生が増加傾向です。みなさんの園では発生していませんか？

発生したカイガラムシ類は成虫および幼虫で越冬します。越冬虫は翌年の発生源となるので、これをいかに減らせるかが重要です。

年間2～3世代発生します。薬剤散布は成虫よりも幼虫の方が効果が高いため、適期防除に努めましょう。



〈ヤノネカイガラムシ〉

2 防除薬剤

時期	ぼんかん・たんかん
3月（収穫後）	スプレーオイル（150倍希釈）
6月上中旬	スプラサイド乳剤40（1,500倍希釈）
8月下旬	アプロード水和剤（1,000倍希釈）



〈イセリアカイガラムシ〉

（担当：濱上）

※収穫後のスプレーオイルは、樹勢が弱っている樹には散布しない。

さつまいも基腐病（仮称）について

1 さつまいも基腐病（仮称）とは？

さつまいもの新しい病気で、屋久島町でも発生していることが確認されています。糸状菌の一種でヒルガオ科のみに感染します。感染すると、地際部の茎が黒色から暗褐色になり、葉も変色して落葉します。その後、病気が進展すると地上部の茎が枯れ、いもが腐敗します。これまで発生していた「つる割病」と症状が似ていますが、芋まで腐敗するため大きな減収に繋がります。

2 対策はどうすればいいの？

種いも感染や土壌感染をしますので、基本的にはこれまでの「つる割病」と同じ防除対策になります。

- ①種いも更新，ウイルスフリー苗の利用
- ②苗消毒の徹底
- ③排水対策の徹底
- ④連作をしない
- ⑤残さをほ場外に持ち出す

等の対策があげられます。今後、新規薬剤の登録など新たな防除対策の検討が進められる予定です。



〈発生ほ場と芋の腐敗状況〉

（担当：蛭原）

新しい農業の仲間が増えました！

9月19日に安房公民館で、屋久島地区農業改良普及事業協議会主催による新規就農者励ましの会が開催され、青年農業者育成に尽力いただいている指導農業士、女性農業経営士を始め、認定農業者や関係機関を含め40名が出席し、屋久島の農業を支えていく新たな仲間を歓迎しました。

本年度の新規就農者は3名（果樹2名、茶1名）で、励ましの会当日は2名が出席されました。

就農された方が早期に経営を確立し、地域農業の担い手として活躍されるよう、農業普及係では、関係機関団体と協力しながら、技術・経営等の支援を行ってまいります。



女性農業経営士に認定されました

平成31年2月1日、鹿児島市で農業士認定証交付式があり、屋久島町から女性農業経営士に大角千名美さん（野菜・果樹：写真右）と黒葛原洋子さん（果樹：写真左）の2名が認定されました。今後も、魅力ある農業の実現や活力ある農村づくり、また新規就農者の確保・支援等、地域でのさらなる活躍が期待されます。



女性農業経営士とは

農業経営に積極的に参画し、農業経営・労働管理等の高度な知識や技術を有し、わが家の農業経営や地域農業の課題解決に取り組み、発言力や実践力のある地域のリーダー的女性農業者を、平成7年度から知事が認定しています。現在、県内で424名、うち屋久島町では8名が認定されています。

屋久島産堆肥がコンクールで知事賞を受賞

平成31年2月13日、県堆肥コンクール表彰式があり、屋久島町安房の（有）宝珠産業が県知事賞（最優秀賞）を受賞しました。

受賞堆肥は、牛糞を主体に生ゴミ等を添加した混合堆肥で、出品点数45点の中から、色・臭気・品質等を審査され、好成績で選定されました。

藤山さんは「審査結果をもとに、さらなる良質堆肥の生産に取り組みたい。」と今後の抱負を語られました。

今後も屋久島産堆肥を活用した、循環型農業の展開が期待されます。



（有）宝珠産業代表の
藤山通孝さん